国際協力に関する意識調査
2025年版
調査結果

2025年3月21日

公益社団法人 セーブ･ザ･チルドレン･ジャパン

連絡先：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
アドボカシー部　堀江・島村
japan.advocacy@savethechildren.org

Save the Children

調査概要

目的：子どもを含む一般の市民が、

1. 国際協力・ODA拠出についてどのような意識を持っているかを明らかにすること
2. 国際協力の国際目標の達成や社会サービス分野への支援の必要性についてどのように考えているかを明らかにすること

対象：47都道府県在住の、①15歳～17歳の子ども、②18歳以上の大人

実施期間：2025年2月28日（金）～3月2日（日）

方法：インターネットリサーチ「Quick」

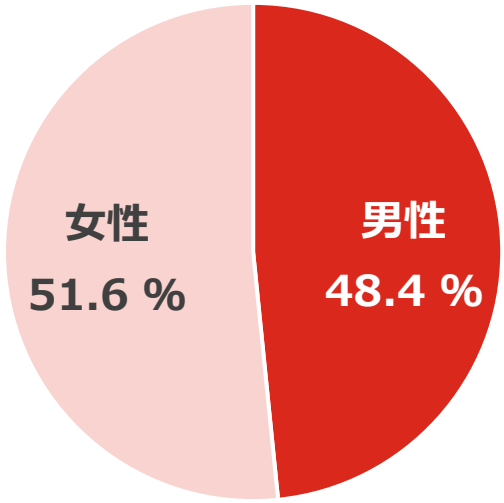
有効回答数：2万606人
（内訳）15歳～17歳の子ども人2,061人、18歳以上の大人1万8,545人

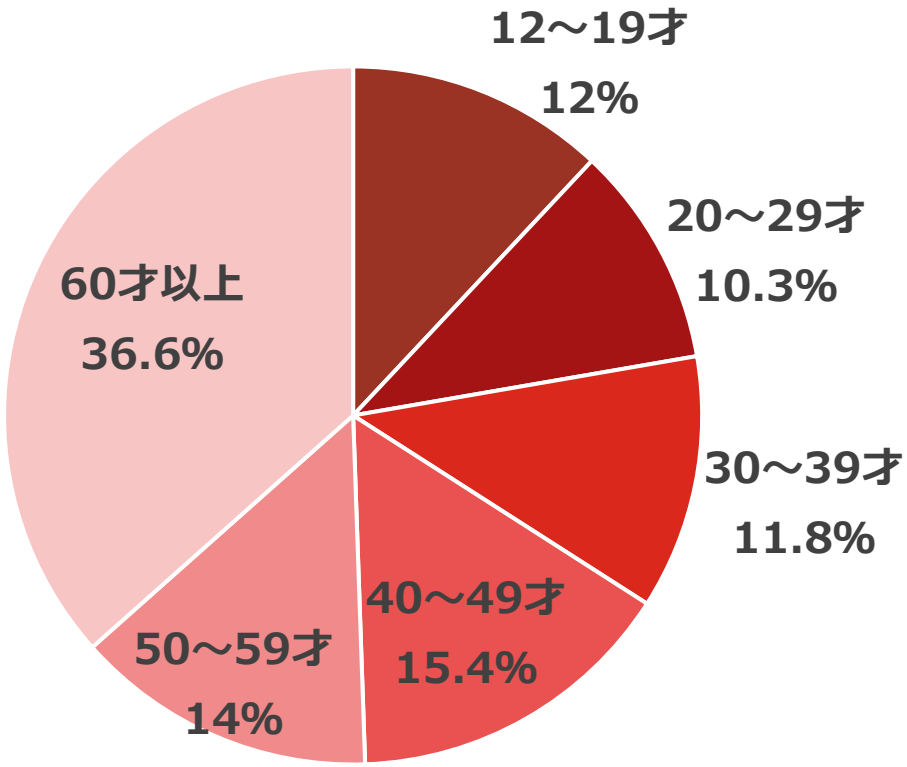
調査主体：公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

調査委託先：マクロミル

Save the Children

回答者属性：性別と年齢（N=20,606）

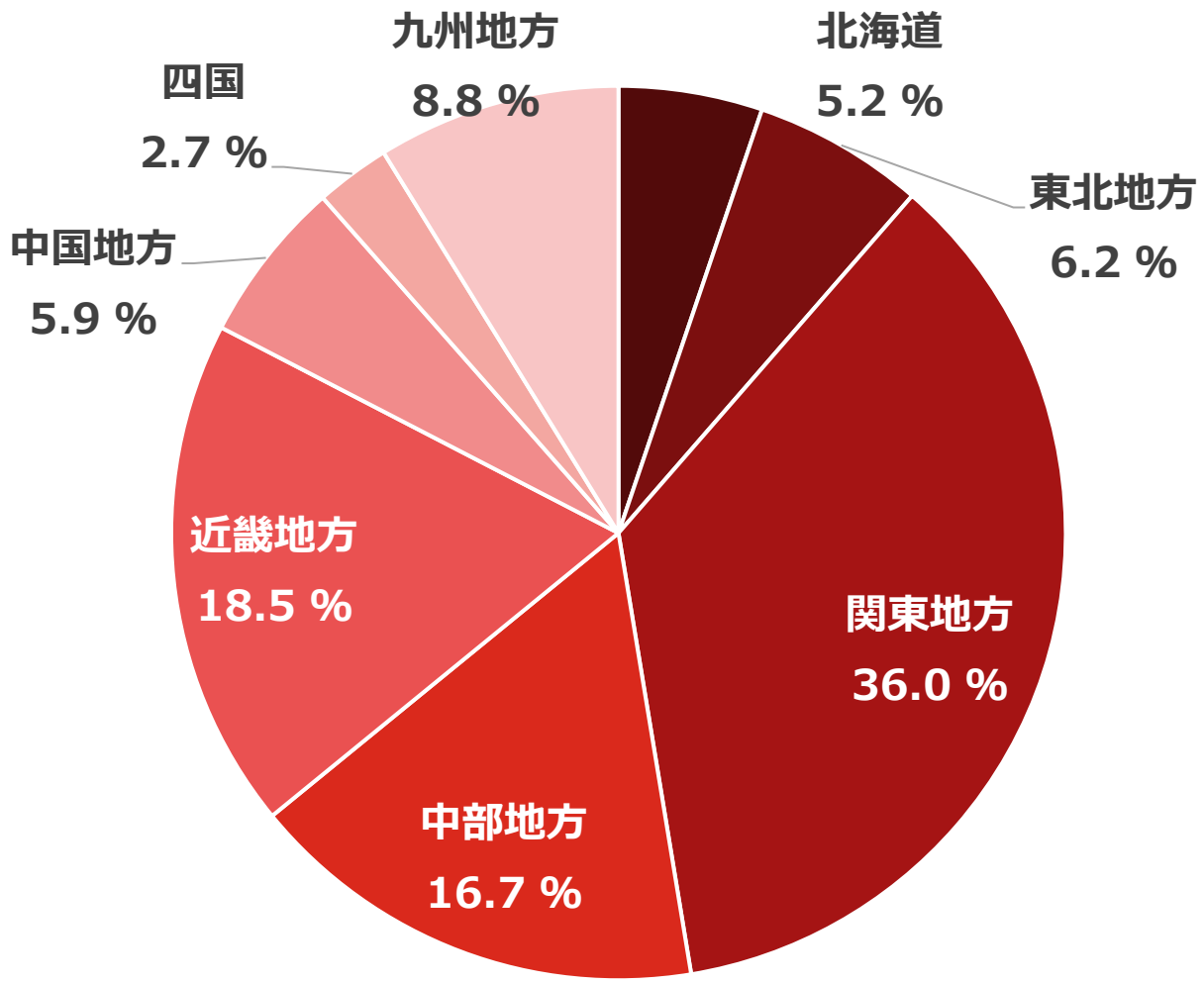




Save the Children

回答者属性：居住地域（N=20,606）

関東が約3.5割を占めるが、すべての地域からの回答があった

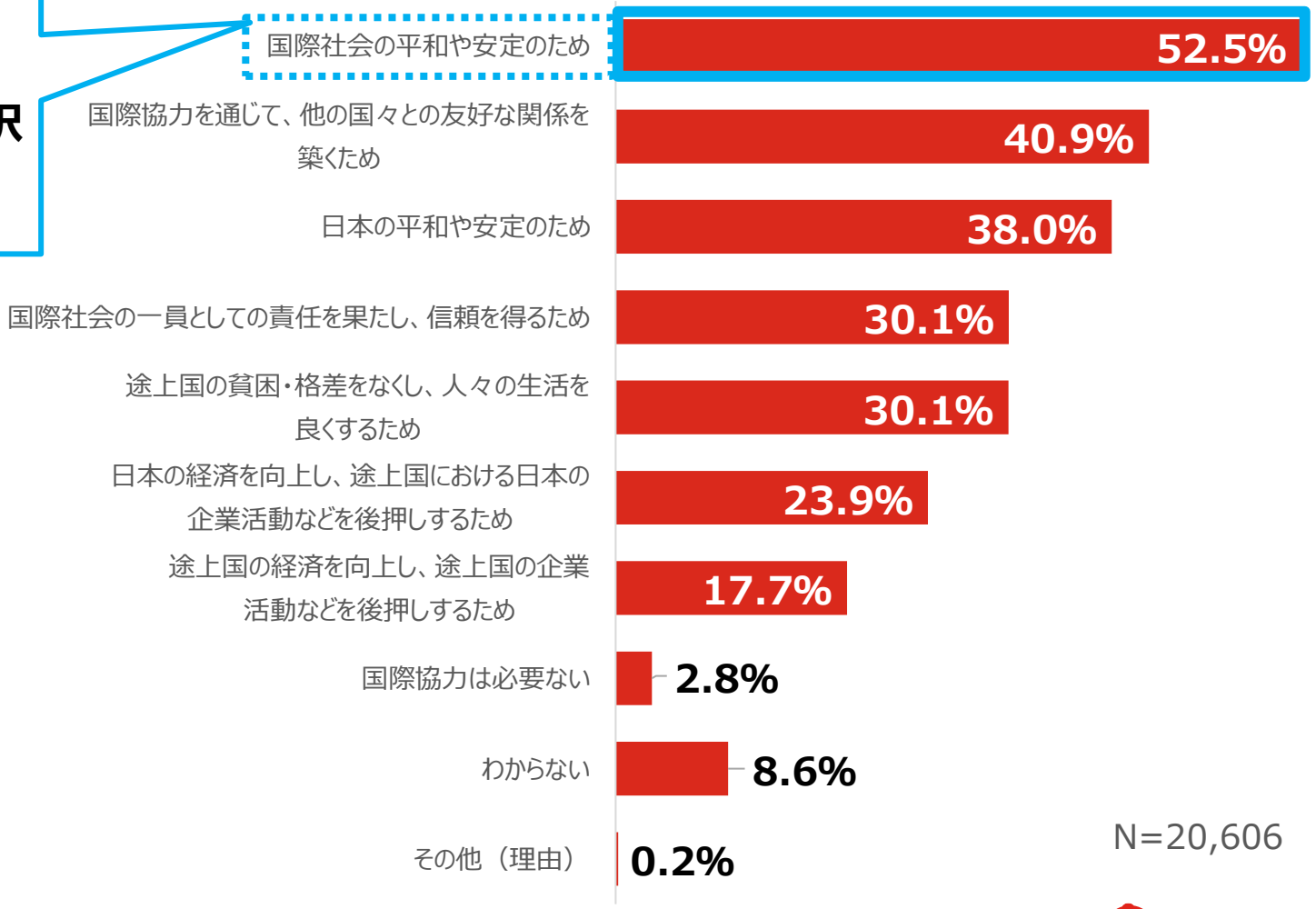


Save the Children

国際協力が必要な理由：
2人に1人が「国際社会の平和と安定のため」を選択

Q：日本の国際協力活動はなぜ必要だと思われますか。（最大3つまで選択）

必要な理由単一選択でも1位



N=20,606

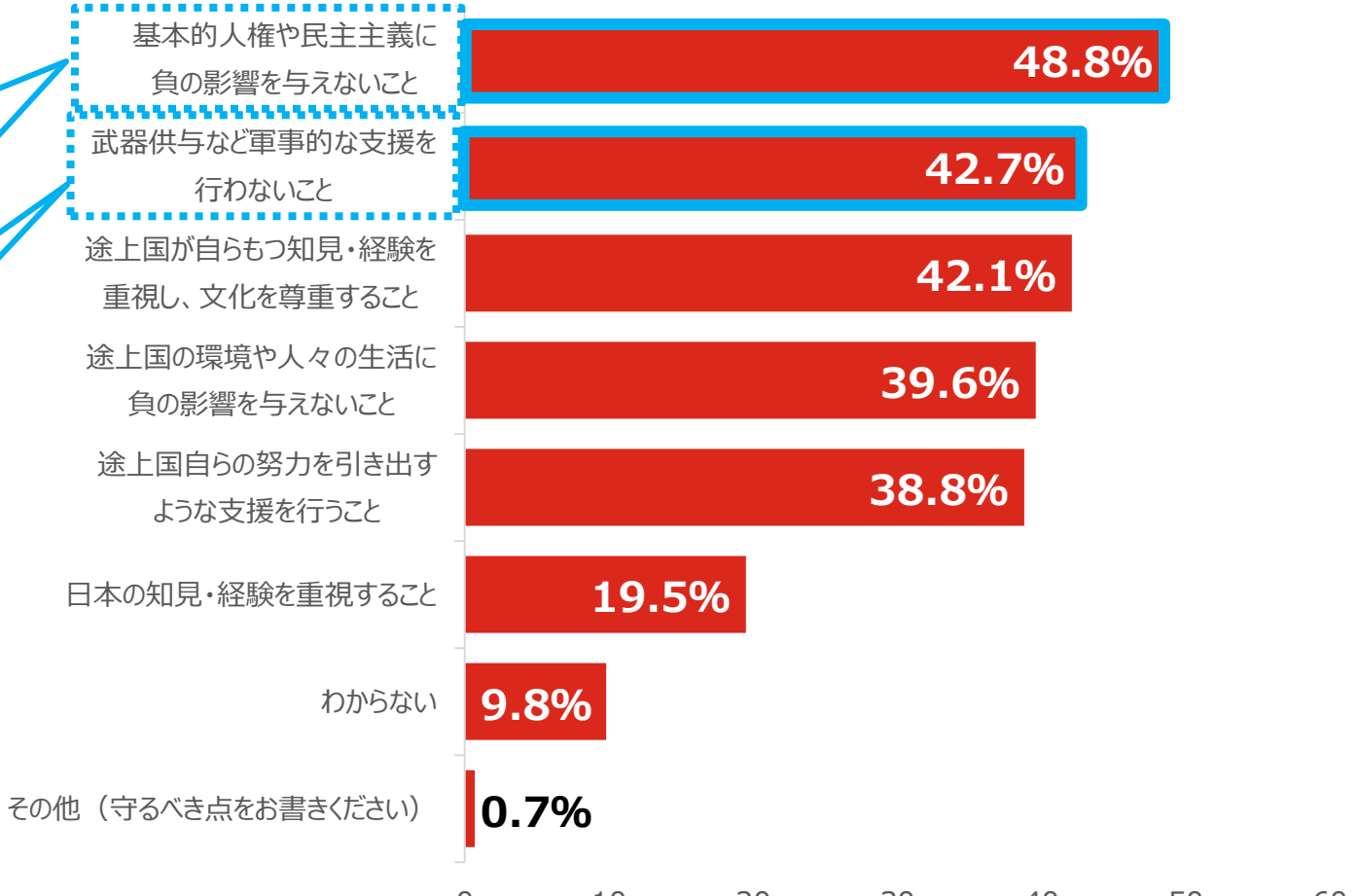
Save the Children

国際協力の原則： 2人に1人が「基本的人権や民主主義に負の影響を与えないこと」を選択

Q: 日本が国際協力を行うときに、守らなければならないことは何だと思いますか。（最大3つまで選択）

「最も守らねばならないこと」の単一選択で第2位

「最も守らねばならないこと」の単一選択で第1位

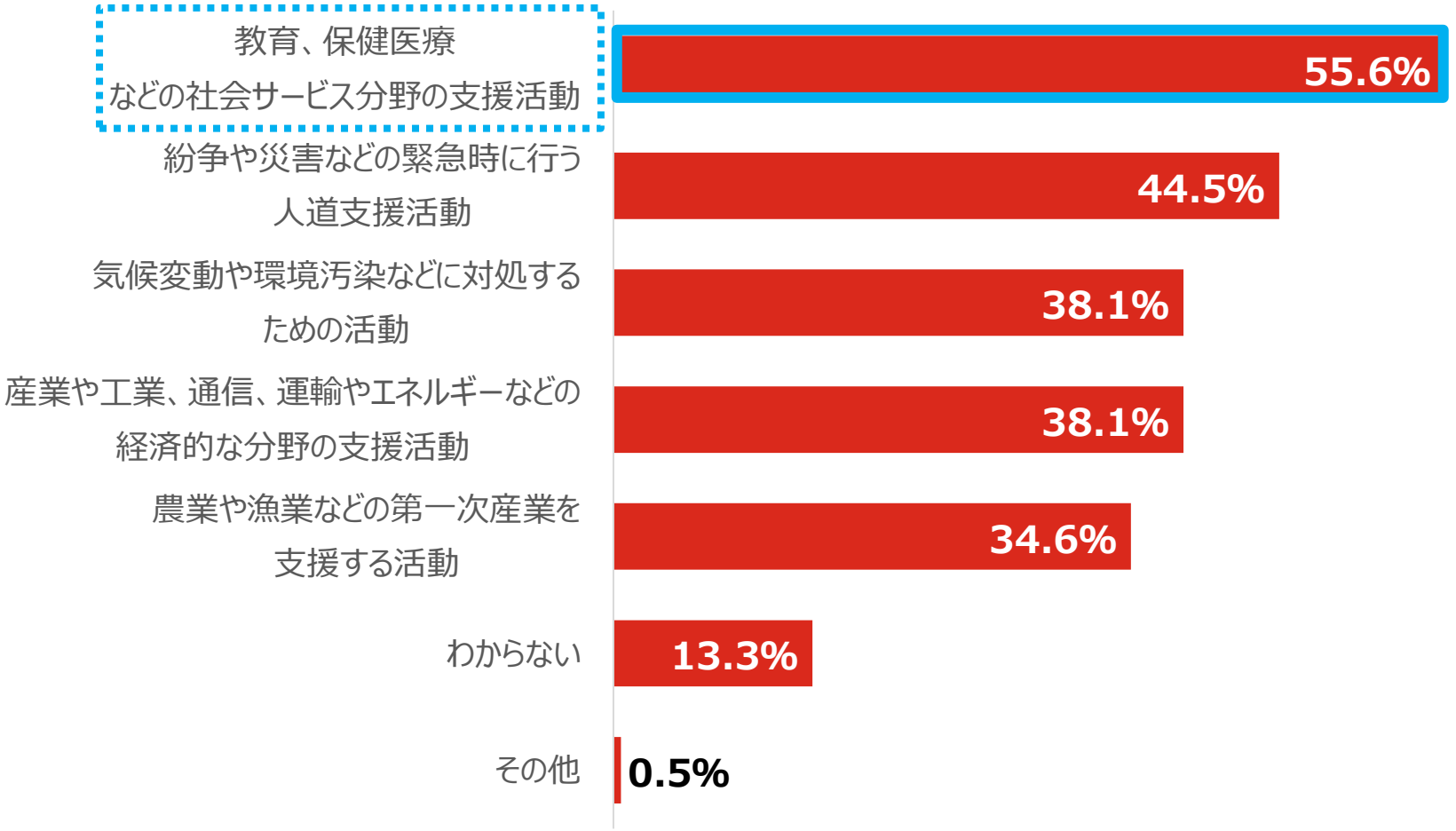


N=20,606

Save the Children

国際協力の重点分野：
教育、保健医療などの社会サービス分野がトップ

Q: 日本が国際協力を行うときに、どの分野に重点をおくべきだと思いますか。（重点をおくべきものすべて選択）



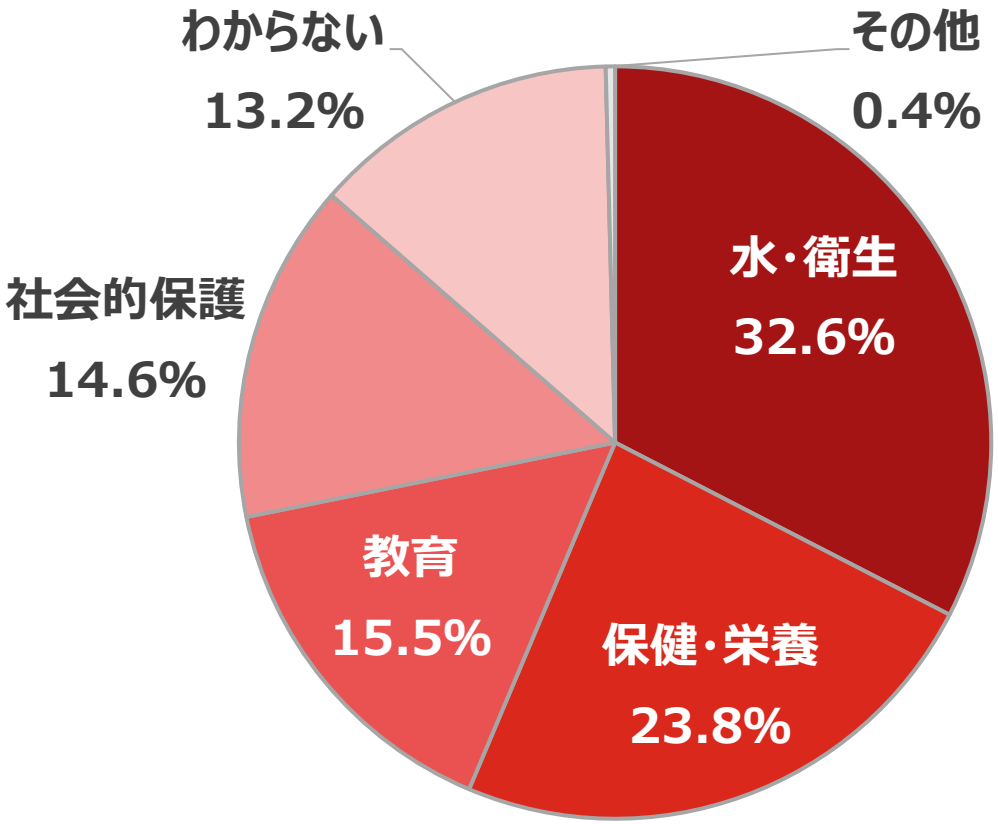
N=20,606

Save the Children

社会サービス※の重点項目：
突出はなかったものの、水・衛生を優先すべきという傾向

※教育、保健医療・栄養、水・衛生、社会的保護（経済的に困難な家庭に対する給付金などの福祉制度）など

Q：社会サービス分野の中で、特に重点的に支出すべき項目はどれだと思いますか。

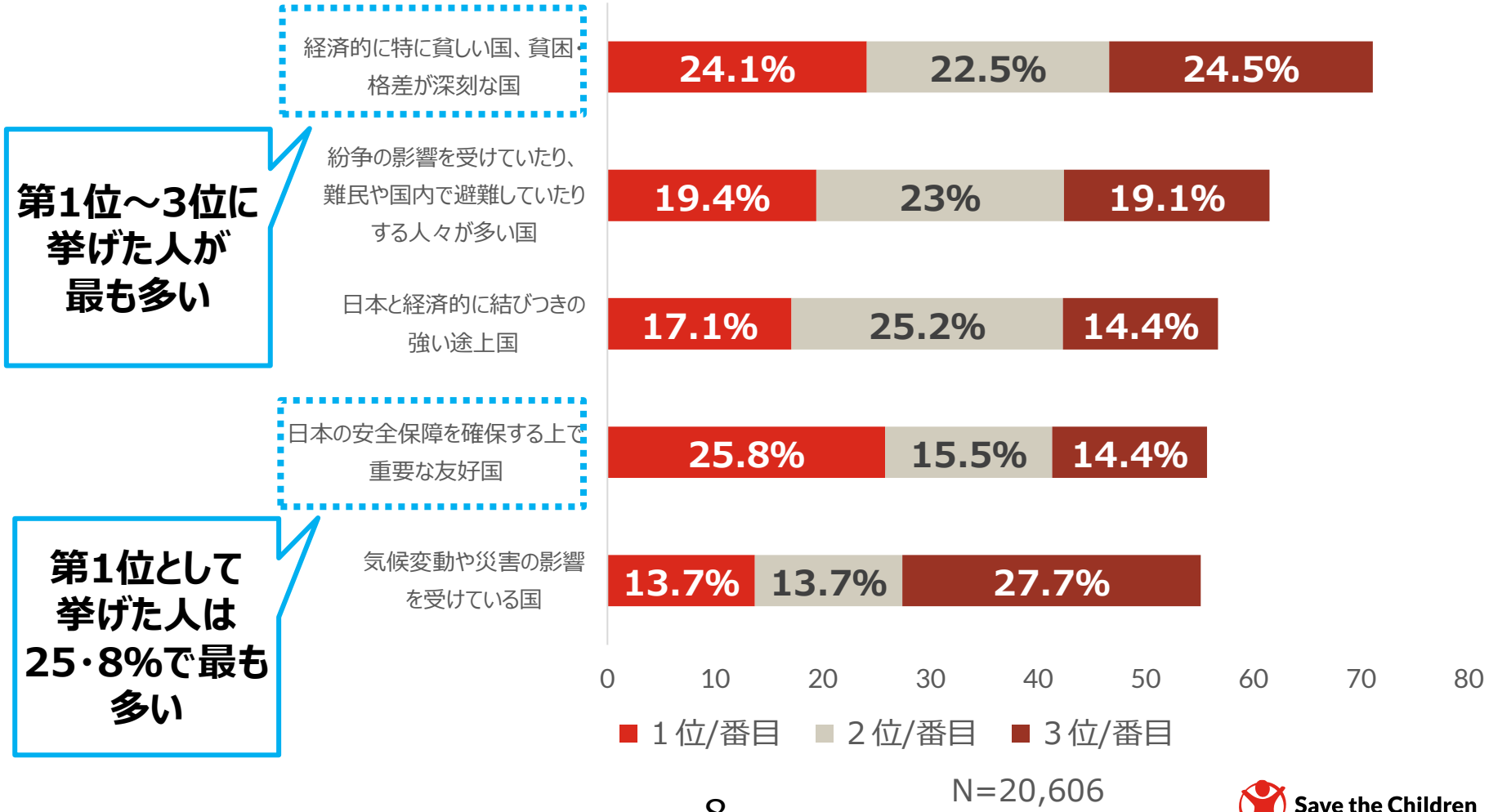


N=20,606

Save the Children

国際協力の重点国：
貧困・格差が深刻な国を優先するべきという傾向

Q：日本は、どのような国を対象に国際協力を行うべきだと思いますか（1位～3位までを選択）



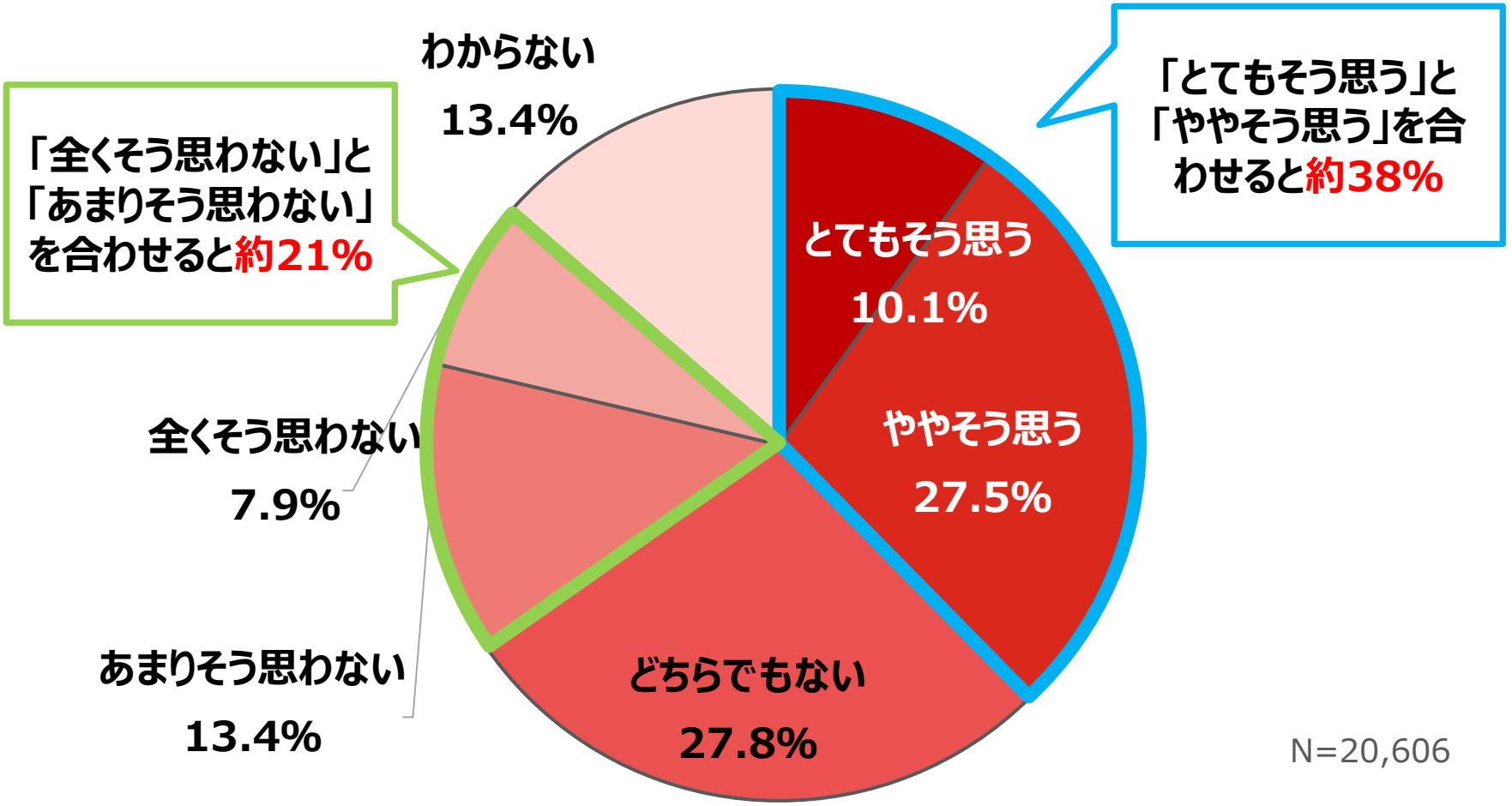
第1位～3位に挙げた人が最も多い

第1位として挙げた人は25･8%で最も多い

Save the Children

ODA0.7%目標達成を支持する人は約4割を占める

Q: 日本はODAの拠出金額を国民総所得（GNI）の0.7%にするという国際目標を達成すべきだと思いますか。



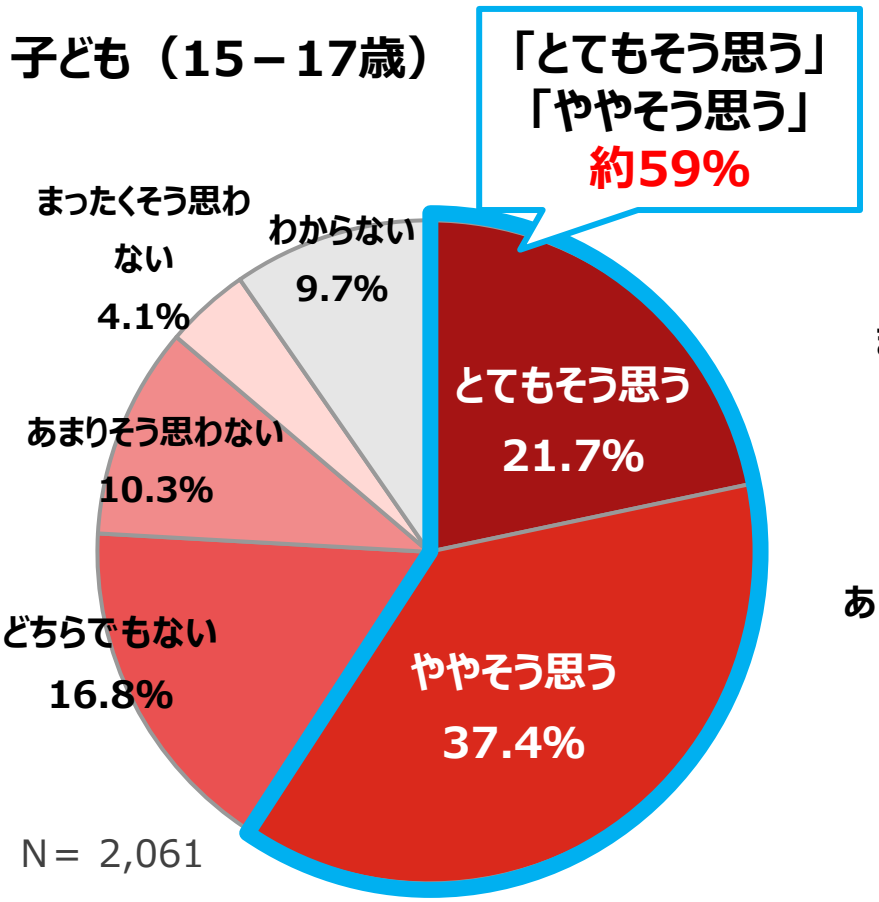
N=20,606

Save the Children

子どもたちの約6割がODA0.7%目標を支持

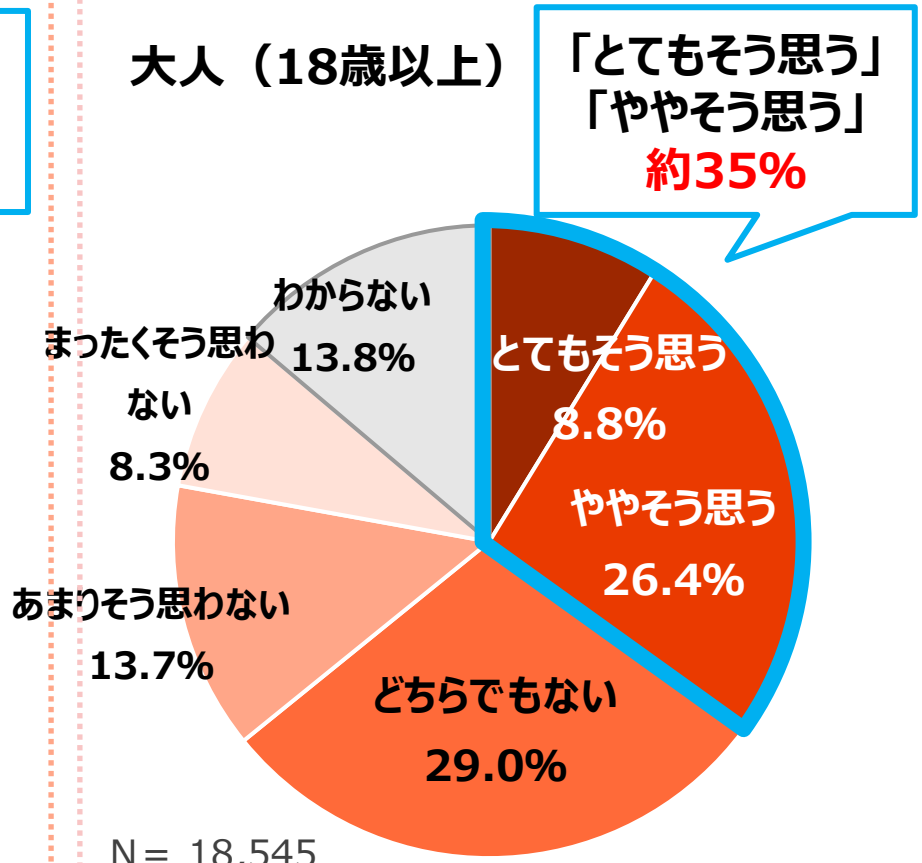
Q: 日本はODAの拠出金額を国民総所得（GNI）の0.7%にするという国際目標を達成すべきだと思いますか。 ※日本のODA拠出はGNIの0.44%（2023年）

子ども（15－17歳）



N＝ 2,061

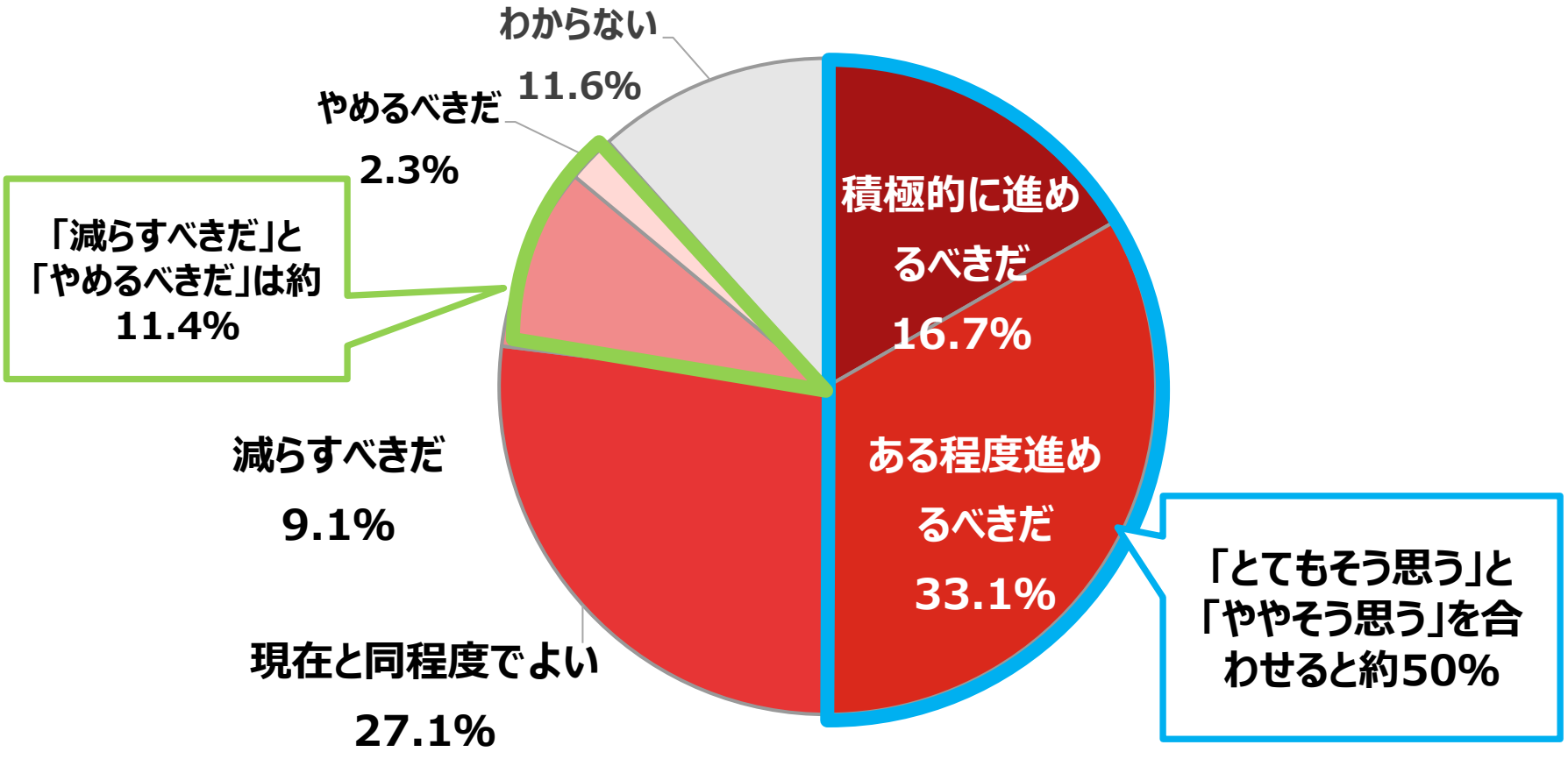
大人（18歳以上）



N＝ 18,545

国際協力を「進めるべき」と答えた人は約半数
一方「減らす、やめるべき」と答えた人は約1割

Q: 日本はこれからの国際協力についてどのようにしたらよいと思いますか。



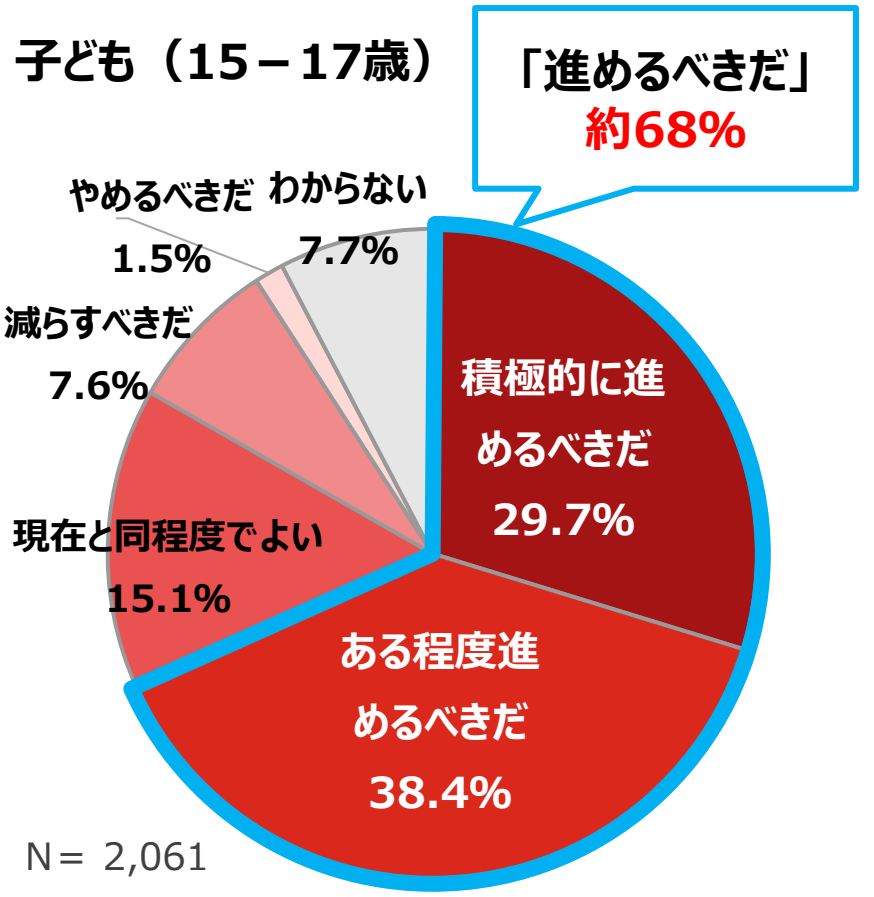
N=20,606

Save the Children

国際協力を進めるべきだと考える子どもは約7割

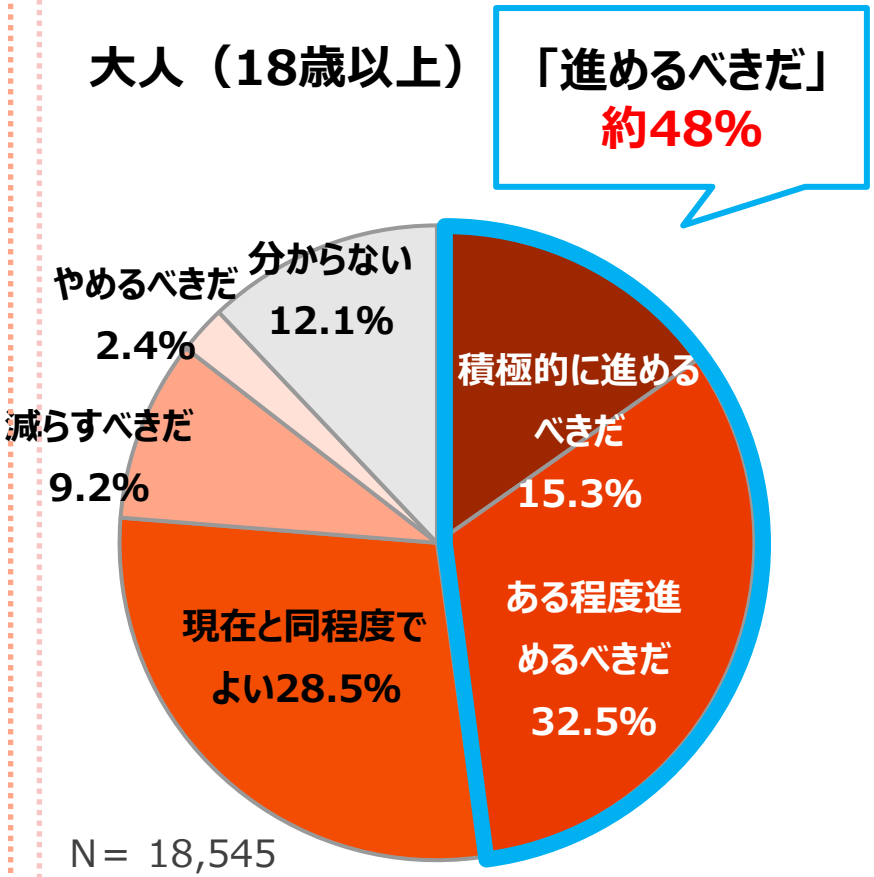
Q：日本はこれからの国際協力についてどのようにしたらよいと思いますか。

子ども（15－17歳）



N＝ 2,061

大人（18歳以上）



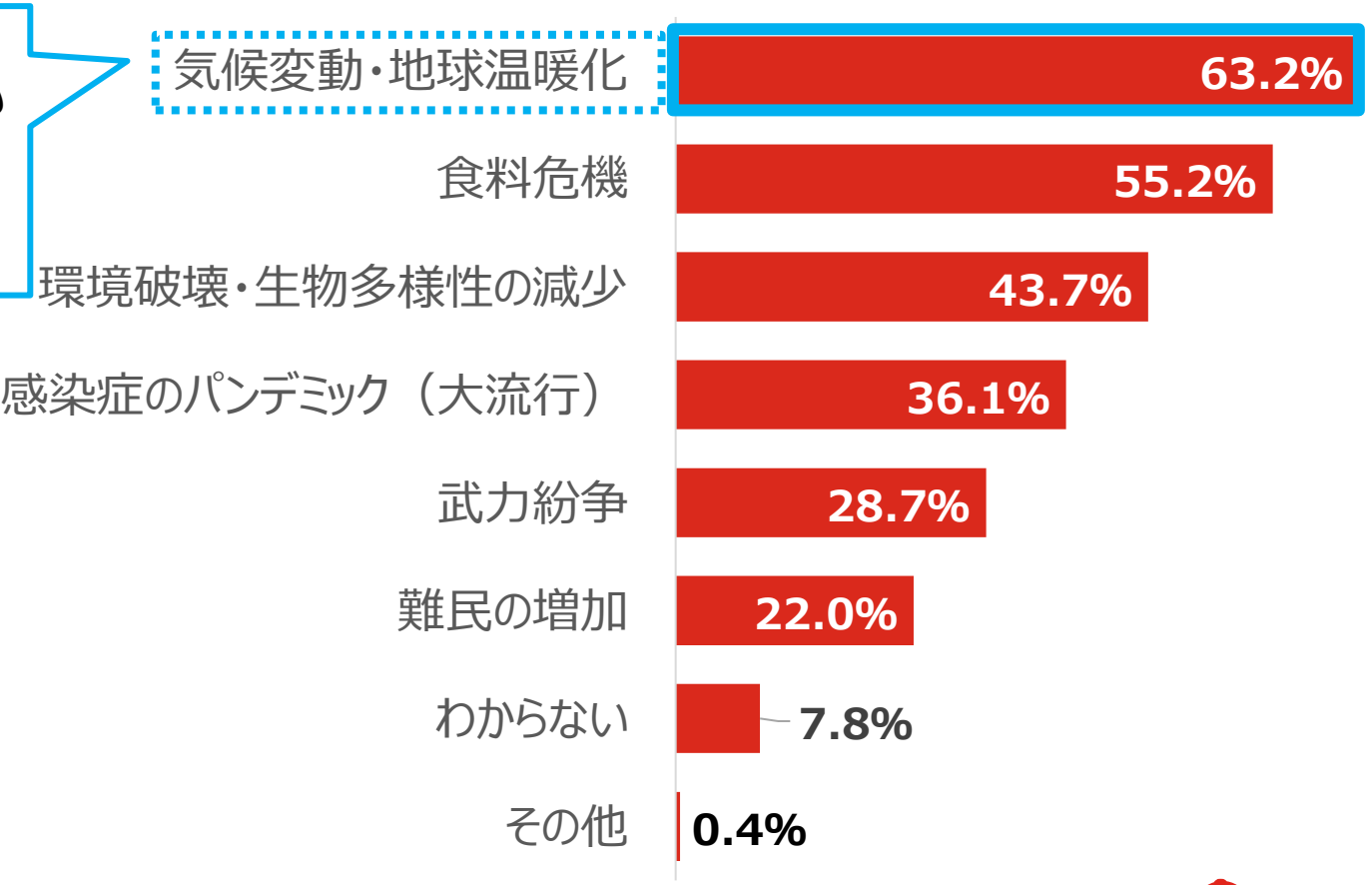
N＝ 18,545

Save the Children

約6割が、気候変動・地球温暖化を自分たちの課題としてとらえている

Q：あなたが「日本にいる自分たちの課題でもある」と感じる世界的な課題は何ですか？
（最大3つまで選択）

単一回答でも挙げた人が最も多い

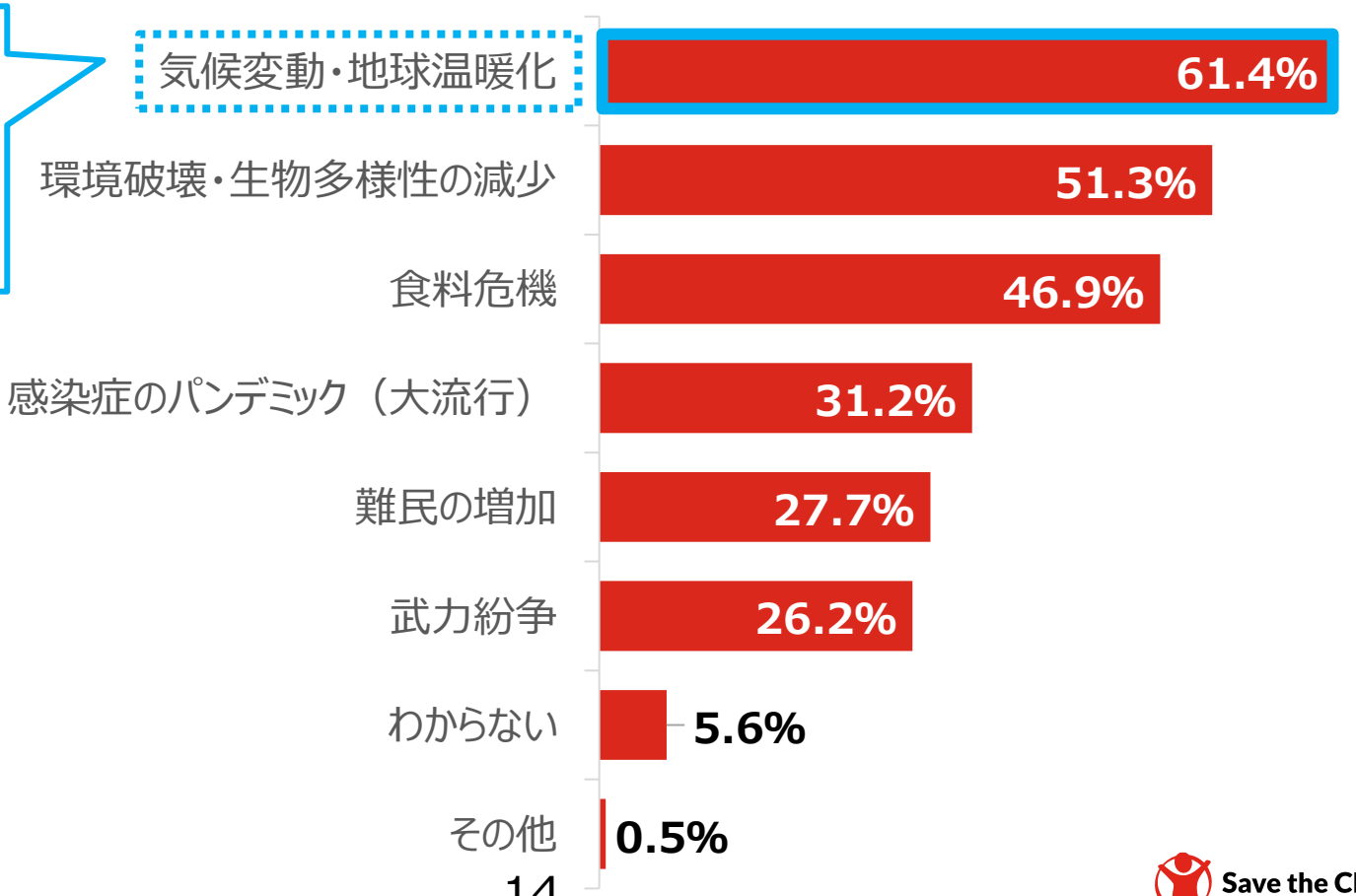


Save the Children

約6割が、気候変動・地球温暖化、約半数が環境破壊・生物多様性の減少を挙げている

Q：あなたが「日本にいる自分たちの課題でもある」と感じる世界的な課題は何ですか？
（最大3つまで選択）

単一回答でも挙げた人が最も多い



Save the Children

まとめ

1. 国際協力に対する意識

- 国際協力が必要な理由として、「国際社会の平和や安定のため」と回答した人は約半数。
- 国際協力の原則について、複数選択では約半数が、「基本的人権や民主主義に負の影響を与えないこと」と回答。単一選択では、「武器供与など軍事的な支援を行わないこと」がトップ。

2. 日本の貢献度に対する考え

- ODAの0.7%目標を達成すべきかについて、約４割が支持。「とてもそう思う」（8.8%）、「ややそう思う」（26.4%）と回答した大人の割合は、約4割にとどまったが、一方、「とてもそう思う」（21.7%）、「ややそう思う」（37.4%）と回答した子どもの割合は約6割となった。

3. 国際協力重点分野についての考え

- 国際協力の重点分野の考えとして、教育、保健医療などの社会サービス分野が約6割とトップ。2位に紛争や災害などの緊急時に行う人道支援活動が続いた。
- 社会サービス分野で重点すべき項目については水・衛生（32.6%）が約3割とトップ。続いて保健医療・栄養（23.8%）、教育（15.5%）が続いた。

Save the Children

まとめ（続き）

4. 今後の開発協力に対する意識

- 日本のこれからの国際協力について、「積極的に進めるべきだ」（16.7%）と「ある程度進めるべきだ」（33.1%）を合わせると49.8%となり、進めるべきだと回答した人は約半数。一方、「減らすべきだ」（9.1%）、「やめるべきだ」（2.3%）と回答した人は11.4%に過ぎず、約1割となった。

- 子どもと大人別に見ると、「積極的に進めるべきだ」（15.3%）、「ある程度進めるべきだ」（32.5%）と回答した大人は、47.8%で約半数であったのに対し、「積極的に進めるべきだ」（29.7%）、「ある程度進めるべきだ」（38.4%）と回答した子どもは、68.1%の約7割となり、大人を上回る結果に。

- 国際協力の重点国は、 1位から3位の合計では、貧困・格差が深刻な国を挙げる人が最も多い結果になった。一方、日本の安全保障を確保する上で重要な友好国を1位に選択した人は25.8%でトップとなった。

- 日本にいる自分ごとの課題として、複数回答で約6割が気候変動・地球温暖化を挙げており、約半数が食料危機を挙げた。

【参考】寄せられた自由回答から一部抜粋

Q　これからの日本の国際協力に求められることは何だと思いますか。あなたが必要だと思うこと、変えた方がいいと思うことなど、どのようなことでも結構ですので、できるだけ具体的にお答えください。

大人が考える、求められる日本の国際協力の在り方

・国際協力のリーダー国となり他国を引っ張っていくこと。（25歳）

・日本国民に現在および未来にわたり負担などがかからないこと。（38歳）

・途上国に援助が必要なことは、先進国である日本は率先して行動すべきだと思う。国家レベルの協力も必要だが、民間レベルでの草の根活動も、小さな地域や対象とする人々には必要だと感じる。（45歳）

・一時的な金銭の援助だけではなく後々に継続できる技術や教育による長期的な協力が必要だと思います。（47歳）

・先ほどの数字の0.7%にできるだけ近づけるように、無駄なところに税金を使っている場合ではなく国際協力してほしい。（47歳）

・自国ファーストの風潮を牽制し、国際協力を強いリーダーシップで推し進めること。（51歳）

【参考】寄せられた自由回答から一部抜粋

子どもが考える、求められる日本の国際協力の在り方

・見返りを求めない、途上国が自立して発展出来るための協力。（15歳）

・経済や技術の面の協力はもちろん、発展途上国が自主的に発展できるよう、学校を建てるなどして地盤を整えること。（15歳）

・国民一人ひとりが国際協力によって日本の安全が守られていることを知ることが必要。（17歳）

・先進国として発展途上国への支援をより活発的に行ったほうが良いと思います。具体的には飢餓に苦しんでいる人々などに経済発展の支援をしたほうが良いと思います。（16歳）

・国際協力はもちろん大切なことだが、国内にも目を向けて、国内情勢と国際情勢のどちらも良い方向へ向かうようにバランスの取れた活動をすべきだと思う。（17歳）

・日本の安全、経済向上を目指しながら、世界に貢献して、より必要な存在になること。（17歳）

国際協力に関する情報発信を求める声

・どのような国際協力をするにしても、必ず正確に信頼度の高いメディアに載せるべき。（17歳）

・私のように国際協力への知識がない人が減る必要があると思う。今回を機に勉強したいと思った。（22歳）

・国際協力について学校でもっと教育すべきだと思う。（33歳）

・日本がどんな国際協力をしているのか、日本国内での認知度が低いと感じるので、国民が知る機会を増やしてほしい。（43歳）

・素晴らしいことをやっているのに、相手国にも自国民にも知られていないのではないかと思ってしまう。（49歳）

・本当に必要なところに必要な支援が送られているか、しっかり検討し、国民一人一人が納得して支援できる情報を発信すること。（59歳）

・日本の援助、協力によって出来た成果をもっと国内外にアピールすべき。（74歳）

【参考】寄せられた自由回答から一部抜粋

説明責任を求める声

・日本の国際協力といっても具体的にどのような活動が行われているかが明確ではない。（31歳）

・透明性のある国際協力事業であることが求められる。（33歳）

・援助したお金が途上国でどのように使われているか、ちゃんと困っている途上国民のために使われているか調査すべき。（44歳）

・ODAの効果（結果）についての報道がほとんどなされていないように思う。（61歳）

・ODAの活動内容がわからないこと。資金支出が不透明。費用対効果。日本の世界貢献度がわからない。（61歳）

・ODAで拠出したお金が、本当に適切な使い方をされているか、きちんと検証し、日本国民に説明することが必要だと思う。（63歳）

日本国内の課題を優先すべきという声も

・体裁としてはこれまで以上に協力することが必要だと思うが、日本はまず自国の環境(経済状況等諸々)を改善すべきだと思うし、そっちの方が重要であると思う。（15歳）

・国際協力も政治的、経済的に必要なことだと思うが、近年の日本において、注力すべきは日本国内の問題解決ではないのか。（34歳）

・水や食料がなかったり必要な医療を受けられなかったりと、当たり前の生活を送ることが難しい国や地域の人たちを助けたい気持ちはすごくある。しかし、日本にいても経済的に苦しいなどで発展途上国ほどではないにしても困窮している人もいる。（31歳）

・国際協力は重要だと思うが、まず自国の課題を解決していかないと、税金を使うことに対する国民の同意が得られない。（57歳）

・本当に大変な状況におかれている国には国際協力が必要だと思うが、現在の日本の状況では海外へ援助するより、国内経済をしっかり立て直して、国民の生活をよくするのが先決だと思う。（72歳）

国益についての意見

・国際協力により、どのように日本にも利益があるのか、国民に説明を続けて欲しい。（27歳）

・日本の国益を最優先に考えた対応。日本国民に好影響を与えない支援をやりすぎている。（41歳）

・日本も昔ほど予算に余裕はないので、日本の国益を優先して国際協力を行うべきと思う。（70歳）

・先進国かつ国際社会の一員として、見返りのないことでも積極的に行うことが求められると思う。（22歳）

・日本の国益から考えた支援も必要だが、本当に必要とされている人々に支援が届く様にするべき。（43歳）

・国益を優先するのではなく、あくまでも発展途上国や紛争に巻き込まれている国、気候変動の被害にあっている食糧危機に遭遇している国々などを積極的に支援すべきと思います。（46歳）

重点を置くべき国・地域や分野

・貧しい国に優先して支援してあげてほしい。（26歳）

・人々が健康に生きていくための、食料支援や医療・保健支援、衛生支援をしていくべきだと思う。（32歳）

・安全保障を考慮した日本に友好的かつ戦略的に重要な国に対し援助を行うことが必要である。（33歳）

・災害や紛争による被災者への人道支援を中心に行って欲しい。（62歳）

・途上国の教育支援。紛争や戦争による避難民への支援。（66歳）

・気候変動の抑制及び貧困の解消。（67歳）

・行えば良いではなく、費用対効果が有るものに重点を置くべき。（72歳）

・求められる国際協力は多岐にわたるのでその優先度を決めるのは難しい。（88歳）

【参考】寄せられた自由回答から一部抜粋

「子ども」に対する支援の強化を求める声も上がった。

・世界の子供を守る活動（栄養、衛生）、それが整ったら教育の機会を作る。（45歳）

・貧困で食糧難などで小さな子供が亡くなってしまったり学校に行けない国があるとききます。そういう国へのさらなる支援。（51歳）

・子供たちが安心して暮らせる環境にする事。医療、教育、衛生環境など。（65歳）

・食料危機、戦争などで、命の危機になっている子供たちを助けるのが、一番必要だと思います。（66歳）

・貧困な国の子供たちの援助に力を入れて欲しい。（76歳）

・発展途上国の中でも　最も力の弱い立場のひとたちを　支援することだと思います。例えば女性と子供たちだと思います。（80歳）

・子供たちを一番はじめに救うべきだと考えます。（81歳）

Save the Children

設問一覧

Q1. 日本の国際協力活動は**なぜ必要**だと思われますか。(3つまで＋最も必要だと思う理由1つ選択)

Q2. あなたは、前問で日本の国際協力活動は必要ないとお答えになりましたが、その理由はなぜですか。

Q3.日本が国際協力を行うときに、**守らなければならないこと**は何だと思いますか。（3つまで＋最も守らなければならないこと1つ選択）

Q4.日本が国際協力を行うときに、**どの分野に重点**をおくべきだと思いますか。（重点をおくべきだと考えるものをすべて選択）

Q5.日本はODAの拠出金額を**国民総所得（GNI）の0.7%にするという国際目標**を達成すべきだと思いますか。

Q6.社会サービス分野の中で、特に重点的に支出すべき項目はどれだと思いますか（1つ選択）。

Q7.日本はこれからの国際協力について**どのようにしたらよい**と思いますか。

Q8.日本は、**どのような国や人を対象**に国際協力を行うべきだと思いますか。（1位から3位まで選択）

Q9. あなたが「**日本にいる自分たちの課題**でもある」と感じる世界的な課題は何ですか。（3つまで＋最も関係のある課題だと感じるもの1つ選択）

Q10. これからの**日本の国際協力に求められること**は何だと思いますか。あなたが必要だと思うこと、変えた方がいいと思うことなど、どのようなことでも結構ですので、できるだけ具体的にお答えください。